

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】令和 4 年 5 月 30 日(2022.5.30)

【公開番号】特開 2020-195013(P2020-195013A)
【公開日】令和 2 年 12 月 3 日(2020.12.3)
【年通号数】公開・登録公報 2020-049
【出願番号】特願 2019-98072(P2019-98072)
【国際特許分類】

H 0 4 N 19/463(2014.01)

10

H 0 4 N 19/61(2014.01)

H 0 4 N 19/186(2014.01)

【F I】

H 0 4 N 19/463

H 0 4 N 19/61

H 0 4 N 19/186

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 5 月 20 日(2022.5.20)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

予測残差を復号する復号部を備えた画像復号装置であって、
前記復号部は、

1 つの予測残差を復号して、複数の色成分に関する予測残差を導出するように構成されて
おり、

30

スライスヘッダ単位で複数の色成分の間の関係式(ジョイント色差符号化)で用いられる
正負の符号を示すサインフラグを復号し、

ブロック単位で色成分をジョイント色差符号化するか否かを示す第 1 のフラグを復号し、
ブロック単位で色成分の量子化予測誤差の情報が存在するか否かを示す第 2 のフラグおよ
び第 3 のフラグを復号し、

ブロック単位で前記関係式のモードを決定し、

前記第 1 のフラグがジョイント色差符号化することを示す場合、

前記サインフラグを、モード毎に導出し、

前記色成分、前記第 2 のフラグの値、前記第 3 のフラグの値、およびモードを参照して、
第 1 の色成分の残差または第 2 の色成分の残差をもとに復号しないと判断した色成分の残
差を生成する

40

ことを特徴とする画像復号装置。

【請求項 2】

前記第 1 のフラグを参照して、前記モードを決定することを特徴とする請求項 1 に記載の
画像復号装置。

【請求項 3】

前記第 2 のフラグおよび前記第 3 のフラグから、前記モードを決定することを特徴とする
請求項 1 に記載の画像復号装置。

【請求項 4】

前記第 2 のフラグが第 1 の色成分の量子化予測残差の情報が存在することを示す、また

50

は、前記第 1 のフラグがジョイント色差符号化することを示す場合、前記第 1 の色成分の残差を復号し、

前記第 3 のフラグが第 2 の色成分の量子化予測残差の情報が存在することを示し、かつ、前記第 1 のフラグがジョイント色差符号化することを示さない場合、前記第 2 の色成分の残差を復号し、

前記第 3 のフラグが前記第 2 の色成分の量子化予測残差の情報が存在することを示し、かつ、前記第 1 のフラグがジョイント色差符号化することを示す場合、前記第 2 の色成分の残差を復号しないことを特徴とする請求項 1 から 3 の何れか 1 項に記載の画像復号装置。

【請求項 5】

前記第 3 のフラグが第 2 の色成分の量子化予測残差の情報が存在することを示し、または、前記第 1 のフラグがジョイント色差符号化することを示す場合、前記第 2 の色成分の残差を復号し、

前記第 2 のフラグが第 1 の色成分の量子化予測残差の情報が存在することを示し、かつ、前記第 1 のフラグがジョイント色差符号化することを示さない場合、前記第 1 の色成分の残差を復号し、

前記第 2 のフラグが前記第 1 の色成分の量子化予測残差の情報が存在することを示し、かつ、前記第 1 のフラグがジョイント色差符号化することを示す場合、前記第 1 の色成分の残差を復号しないことを特徴とする請求項 1 から 3 の何れか 1 項に記載の画像復号装置。

【請求項 6】

予測残差を符号化する符号化部を備えた画像符号化装置であって、

前記符号化部は、

複数の色成分に関する予測残差を導出するために、1 つの予測残差を符号化するように構成されており、

スライスヘッダ単位で複数の色成分の間の関係式（ジョイント色差符号化）で用いられる正負の符号を示すサインフラグを符号化し、

ブロック単位で色成分をジョイント色差符号化するか否かを示す第 1 のフラグを符号化し、

ブロック単位で色成分の量子化予測誤差の情報が存在するか否かを示す第 2 のフラグ、第 3 のフラグを符号化し、

ブロック単位で前記関係式のモードを決定し、

前記第 1 のフラグがジョイント色差符号化することを示す場合、

前記サインフラグを、モード毎に導出し、

前記色成分、前記第 2 のフラグの値、前記第 3 のフラグの値、およびモードを参照して、第 1 の色成分の残差または第 2 の色成分の残差をもとに復号しないと判断した色成分の残差を生成する

ことを特徴とする画像符号化装置。

10

20

30

40

50